

5 / 19 『わたしのことばを実現しよう』(エレミヤ書1章11節~12節)

松丸嘉也師

「預言者として神の言葉を語れ」と、予期せぬ神からのチャレンジと召しを受けて恐れ悩むエレミヤ。神は、そんな彼に「あなたは何を見ているのか。」と問われました。はっとする、心を探られるような問いかけです。神様は、私たちにも同じように語りかけておられるのではないのでしょうか？この問いかけは、私の見ているものを意識的に見直すようにとの神からの促し、チャレンジです。私の見ている「アーモンドの枝」とは、何でしょうか？

私たちは、毎日の生活の中で次々とやってくる危機的状況に恐れや不安を持ちます。「わたしのことばを実現しよう、わたしは見張っている」と、神はエレミヤにチャレンジだけでなく、約束をもって励ましを与えられました。同じように、私たちにも励ましと約束をもって語りかけてくださいます。そして、チャレンジをもって私たちを招き、ご自身のご計画とその働きへと導いてくださっているのではないのでしょうか。

「わたしのことばの実現」とは何でしょうか？それは、全ての人が、イエス・キリストの十字架の死と復活による罪の赦しと永遠のいのちを受け取り、救いにあずかることです。神様はご自身のご計画を、あえて人を召し、用いながら、自ら進めておられます。そして神さまは、この私も主のからだである教会も、そのご計画に招いて用いてくださっています。

「わたしのことばを実現しよう」と見張っている」というみことばに応答かのように、聖書は「イエス・キリストから目を離さないでいなさい」と私たちに呼びかけています。この神様に信頼して、私が生活するそれぞれの場所に遣わされて行きたいと願います。祈りつつ、神様に全てをゆだねて共に歩んでいきましょう。